

中古衣料収集から大船渡教会での無料バザーの取り組み

埼玉地区委員長 土橋誠

3月22日の教区常任常置委員会からの要請により、埼玉地区として中古衣料のバザー開催に向けて取り組みました。59教会・伝道所の協力により中古衣料が大宮教会1階集会室を埋め尽くしました。4月8日に120名の地区内信徒(主に女性)が集まり、すぐに持って行けるものとしばらく残しておかなければならないものを仕分けしました。

仕分けされた衣料を持ち、4月12日から14日にかけて大船渡教会に18名で行き、ミニ無料バザーを行いました。ミニ無料バザーは13日一日でしたが、お餅つき8臼、焼肉30kg、焼きそば230食、フランクフルト230本、焼きそばなどの提供も行いました。大船渡教会の避難所近くにある2か所の避難所からの人々、自宅で避難されている人々など、およそ300名が来られました。

また、この時、韓国から贈られた500mlの水1万本、新品下着なども4tトラックで配送し、大船渡市の地域センターに届けました。14日の帰りの自動車の中では更に韓国から贈られている1.8Lの水3万本の届け先について電話でやり取りしましたが、これは最終的に17日の週になってから福島県のいわき市、相馬市の幼稚園関係に届けることが出来ました(原発の関係で幼稚園が使用する水がないというところから急遽そのようになりました)。

津波の跡の大船渡港、陸前高田の町などに寄りましたが、そこに立って傍観していることに深い痛みを心に抱きました。



衣類の配布バザー

13日、バザー当日は風が強いものの、大船渡もすっかり春めいた陽気となり、思い切って冬物を少なく、春物を多めに持って行ったかがありました。避難所から次々とおいでになる方々に実用的な衣類や新品の肌着が本当に喜ばれました。必要なもの、気に入ったもの見つけてふっと笑顔になるみなさんの様子に、こちらが嬉しくなりました。

「意外とみなさん明るいですね。」と私が声をかけた70歳代くらいの方は「家も車も何もかもきれいさっぱりなくなって、かえって未練がないのよ。新しくやり直す気持ち」とおっしゃいました。圧倒されるような思いがしました。中には話しているうちに涙ぐむ方もありましたが、そこにそっと寄り添って肩に手をかける人もいらっしやり、つながりの深さ、暖かさを見せていただき、また教えられました。

持っていった段ボール100箱ほどの衣類はおおむねお配りできましたが、避難所生活の方々と直接接触の中で、もっと必要なもの、あまり必要とされないものなども見えました。刻々と状況は変化しており、これから現地は緊急というよりも次の段階になっていくのではないかと思います。また、避難所ごとの差や地域差も大きく、離れた埼玉から配慮の行き届いた支援をすることの難しさも感じます。それでも、あくまでも困難の中にある方々を中心に、しっかりとした連携と細やかな配慮を保ちながら、私たちにできる最善のことを息長くさせていただきたいものと思います。(衣料・雑貨担当 長尾愛子)

「避難所の人々の身体と心のリフレッシュ」

報告 竹内紹一郎

13日朝、古着の「フリーマーケット」や、焼きそば、焼き肉、フランクフルト、餅つきの「炊き出し」の準備に忙しい16名の仲間を横目に、大宮教会の佐治範子姉と私は1台のワゴン車に韓国教会の送って下さったミネラルウォーター300本、男性・女性下着約100人分、日用雑貨、それに東北道近くのドラッグストアで調達した風邪薬等を積み込み、大船渡市役所の許可書を持って、車で約1時間離れた市内北東部の三陸町の避難所を訪れました。

先月下旬に取り付けたばかりの中古カーナビを頼りに、午前中は「南区会館」(避難者113名)を訪問、ミネラルウォーターと下着を約2/3と風邪薬や日用雑貨を少しお届けしました。あいにく多くの方々が仕事や用事や学校などで外出されていましたが、近隣で被災された方々にも声を掛けますと総勢19名が集まり、佐治姉がインストラクターとなって身体と心を和らげて元気にしていただく体操をする時が持たれました。最後は、ユニークな新造漢字の楽しいクイズで心も和ましていただき、避難所に集まった方々は皆、満面の笑顔になりました。

午後は、「南区会館」から数キロ離れた「特産品生産施設」(避難者48名)を訪問しました。この避難所も昼間は多くの方が外出されていました。また持参した物資は、同「施設」に十分な備蓄があるとのことで受け入れを辞退されました。佐治姉は、体操ではなく残っていた小学生3名と「かるた」等で楽しく遊ぶ時をもちました。

自宅と全財産のみか大切な家族、近親者をも失う未曾有の大災害に遭われた方々の心の痛みは計り知れませんが、思いつめた状態から、「一時(ひととき)、身体をほぐし、心を柔らかくして復興に取り掛かっていただくことは大切だな」と思いつつ、再びカーナビを頼りに大船渡教会に帰りました。



○東日本大震災救援支援募金報告(教区内)

2011年4月22日現在

坂戸いずみ	70,000円	北本(有志一同・CS)	本庄	6,500円
深谷西島	29,449円		十日町	200,000円
北川辺	18,300円	巻祝福		
新発田	33,872円	小山	小計	547,792円
久美愛	10,000円	水海道	累計	2,523,697円
秩父	1,500円	初雁		

皆さまの深い祈りとお支えに感謝いたします。他教区からの献金の報告は、会計報告時に行います。・献金報告訂正(4号)水海道教会→水海道教会婦人会